

第141号
昭和37年1月1日
昭和29年10月15日
第三種郵便物認可
毎月1日発行
定価1部3円

1月のこよみ
◇元旦(1日)
◇初詣(2日)
◇官庁仕事始め(4日)
◇市一周伝(7日)
◇消防始式(11日)
◇成人の日(15日)
◇国旗制定記念日(27日)
(写真下、小田原漁港の朝明け)

おだわろ

広報

発行所
小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人
莊司 忠一
文進堂印刷所
全世帯配布

小田原市の人口		12月1日現在
人口	128,068人	
男	63,236人	
女	64,832人	
世帯	27,425	
人口	335人	増減
男	143人	増減
女	192人	増減
世帯	94世帯	増減
11月と		比較



新春 所感

新春を迎え、市民各位の健康を祝し、ご祝詞を申し上げます。
最近における本市の発展はまことに目覚ましく、日に日にその様相を新たにしてつづいていくことがひとしく認めるところであり、人口も今や、まさに



新市建設計画を推進 飛躍的な発展に対処

小田原市長 鈴木十郎

に十三万に達するに至り、立地的条件に恵まれた本市にさらには東海道新幹線敷設工事の進捗が第一層の拍車をかけ、大工場の建設も相つぎ、また一般住宅の増加もいじりらしいものがあります。
これに呼応し市内の商工業関係はもとより一般市民の意欲も極めてお高きで、その体制の強化につとめており、い

打開する大きな課題となつております。いすれにしても首都圏整備に伴う産業、文化等あらゆる面においての再編成計画は、東京周辺の各都市にその影響を次第に強くおよぼしていき、特に本市の将来はこれらの観点からみて、その重要性をますます増大しつづけることは明らかな事実であります。このときに当たって、われわれは正しい認識の

伴つて生ずる新しい事態、すなわち船舶の出入を開始した小田原漁港の完成によつて起る画期的な発展及び酒匂川兩岸を中心として統々建設されつつある新工業地域の出現等を予想し、それらを前提として数次にわたる合併によつて増大した行政力の総力を傾注して、拡大した全市域の一体性を具現しようとするものであります。従つてその

指向し得るものと言えらるべきでしょう。これを本年についで言うならば、市民多年の要望であつた市民会館も六月ごろには新威容を整えて県下に誇り得る文化、福祉の殿堂として完成を見ることになり

また新工業都市に備えての県立小田原城北工業高等学校の建設も三十八年度落成を期して、いよいよ着工せられる

今後本市が近代的文化都市として飛躍する上において最も大きな関連性を持つておる事業であると確信いたしております。なお、その実現にあたりましては今後格段の努力を要することとはもちろんであります

多くの困難が横たわつておるとは存じますが、またそれだけに眞年にふさわしい意欲が盛り上つて参るのでございませぬ。そこでさらに一段と市民皆様方と力を合わせ、何物にもおろさないよう、この年の初めにあたり、さらに決意を新たにいたし市の理事者とも密接な連絡を保ちつつ目下継続実施中の諸事業はもとより市民福祉向上のためのあらゆる施策実現のため、最善の努力をいたしたいと念願しております。

以上、申し上げますよう本年は、とくに、わが小田原市にとりまして飛躍の年であり、輝かしい希望に満ちた年と申せると存じますが、この喜ばしい年頭にあたりまして、小田原市の発展と皆様方のご多幸を心からお祈りいたしまして新年のごあいさつをいたします。

年頭の辞

明けましておめでたうございませぬ。
輝かしい希望に満ちた昭和三十七年の新春を迎えるにあたり、市民各位のご多幸を心

町づくりが着々と進み、県西における中心都市として、その成果をあげつつありますこととは感謝いたしません。とくに、昨年は建設的事業

施策実現に最善の努力 近代都市建設にご協力を

小田原市議会議長 山橋 勝蔵

からお祝い申し上げますことと

おいて次々と近代文化都市としての大きな事業が進展をみまされたことには感慨深いものがあります。第一、水源地、高速たい肥化処理施設の落成、漁港における内外港の連結等市民生活に直結した諸事業の完成は今後にお

と存じます。しかしながら、本市におきましては、市民皆様のためになすべき問題は山積いたしております。その第一にあげられるのが下水道事業だと存じます。これは長期計画事業として実施されておるものではあります。本市の前途には本年もなお

小田原

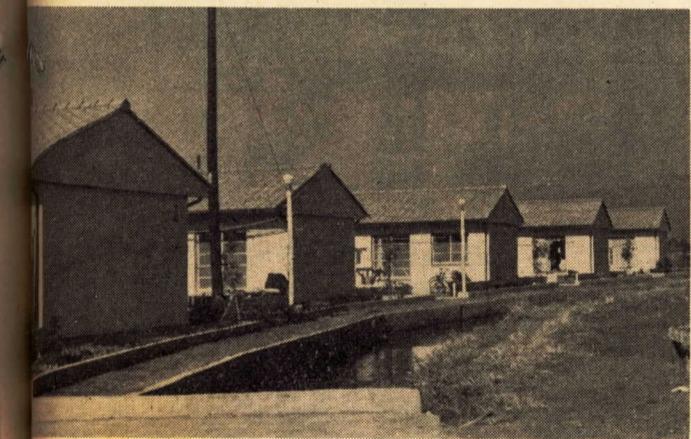
私達のまち小田原は、過去数
 年にわたる進歩的な施策と積
 極的な建設事業により、今や
 県西における産業、文化、教育
 交通の中心地として、また観光
 福祉都市として飛躍的な発展を
 遂げております。



小田原駅前

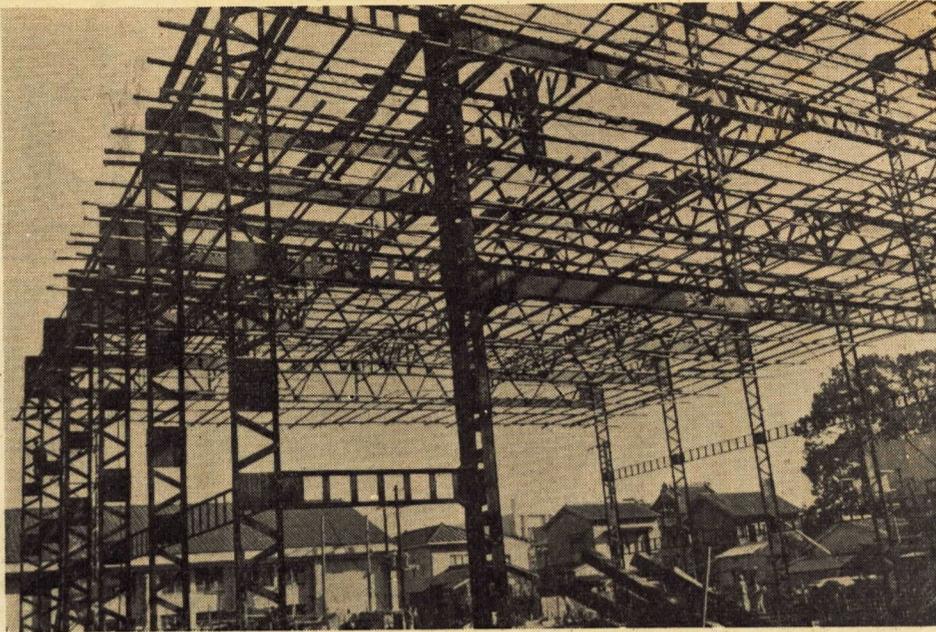


市内デパートの内部



早川沿岸土地区画整理事業

この工事は小田原漁港の修築に伴う背後地開発のため昭和二十九
 年度から総工費二億四千五百万円を費工されたもので、すでに早川



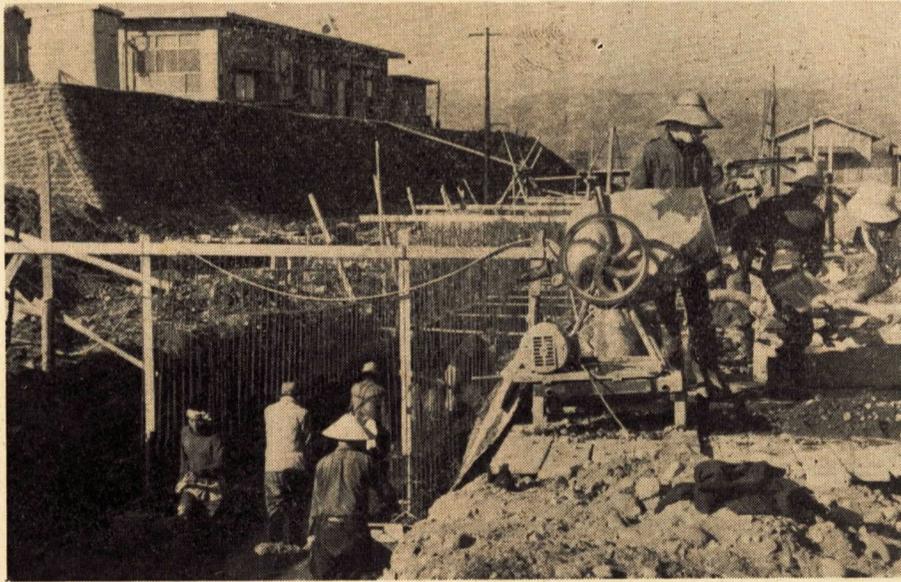
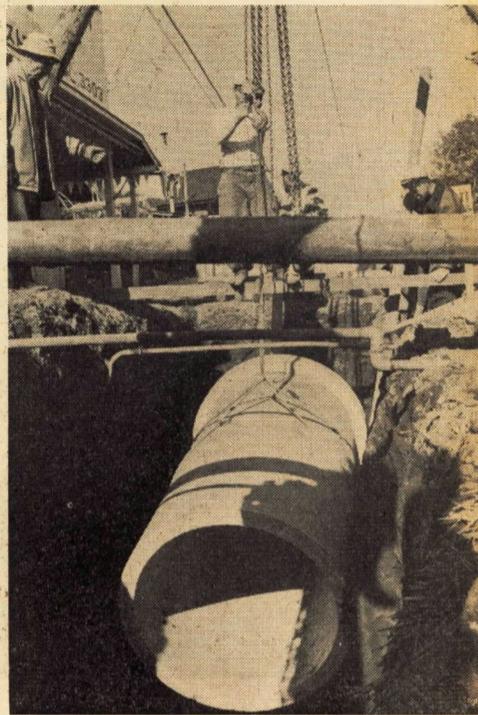
市民会館

市では昨年三月から旧教育委員会庁舎をとり、演劇や音楽、ある
 いは大会、会議などが開催できる市民会館を建設中です。この会館
 は鉄骨鉄筋コンクリート造り、地下一階、地上三階で全館暖房のほ
 か、直径十一メートルの回り舞台等が設けられ、収容人員一千四百名のも
 のです。総工費は現在額一億八千六百万円で、ことしの六月末には
 建築工事が終わる見込みです。

下水道整備事業
 この事業は昭和三十四年度から
 工期十九年総工費約八億円で着工
 されたものです。計画排水面積は
 約四四五ヘクタール、排水人口は
 約十万人で、汚水と雨水を別
 々に流す分流式が採用されていま
 す。
 なお、昭和三十六年末までに埋
 設された排水管(雨水・汚水)の
 総延長は計画の約一〇%にあたる
 約四千七百七十五メートルとなつていま
 す。写真は谷津駅裏排水路工事現場

高速たい肥化処理場(諏訪原)

昭和三十五年一月着工、同三十
 六年六月操業開始、能力一日にし
 尿、ごみ各三十六トン処理し、
 たい肥十五トンを生産、建設費約
 一億三千五百万円。



上水道第二期拡張工事

市では、給水人口十三万九千人、給水量一日約四万立方メートルを目標
 に、工期六年、総工費約四億七千万円をもつて昭和三十四年度か
 ら上水道第二期拡張工事を進めています。写真はこの拡張工事の一
 環として一昨年から着手されている第三水源池(成田)の排水工事
 現場です。なお、同水源池は昨年八月から一部送水を開始していま
 す。



小田原漁港修築事業(第二種漁港)

小田原漁港は昭和二十五年度に着工され総工費は約
 八億六千六百二十五万円。すでに南防波堤百八十二メ
 ートル東防波堤百四メートル燈台等はできあがり目
 下内港掘さく工事が進められています。昭和四十一年
 度には完成の見込みです。

伸びい

そこで昭和三十七年(一九六二年)の新しい年を迎えるにあたり、発展する市街地の様相、市内各地で進められているおもな建設事業や既設の施設などをカメラでとらえ、伸びゆく小田原の姿を見てみました。



城山から市街地を望む



威容を誇る小田原城天守閣

関東唯一を誇る白亜三層四階の小田原城天守閣が、昭和三十五年五月に再建されてから本市への観光客は急激に増加しています。昭和三十六年一月一日から十一月十五日までの入場者数を見ると実に五十一万人を越え、入場料は一千三百五十万円を上回っています。



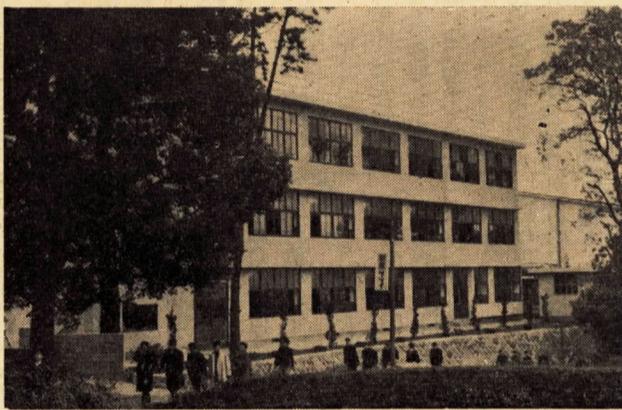
錦通り商店街



幸交差点



星崎記念館(図書館・児童文化館)



市立城山中学校



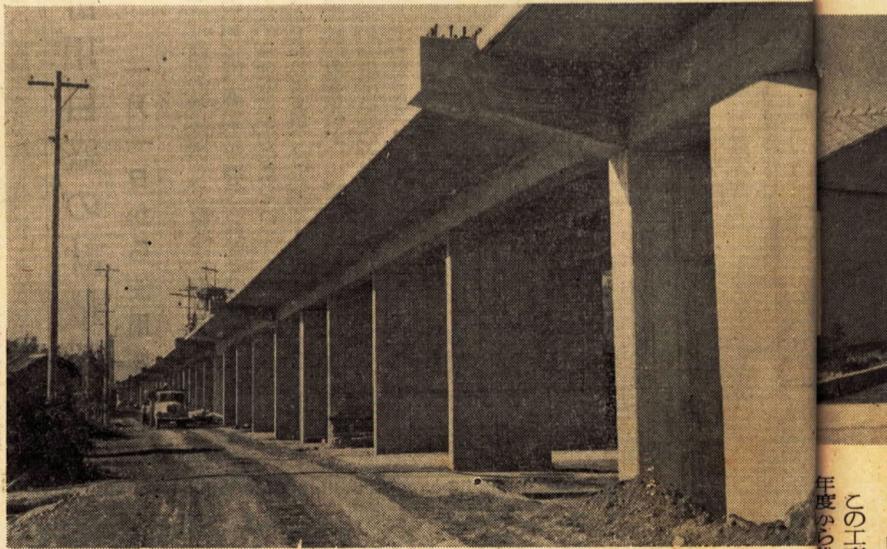
海岸沿いに走る小田原下田線
有料道路

↓ 市立病院本館



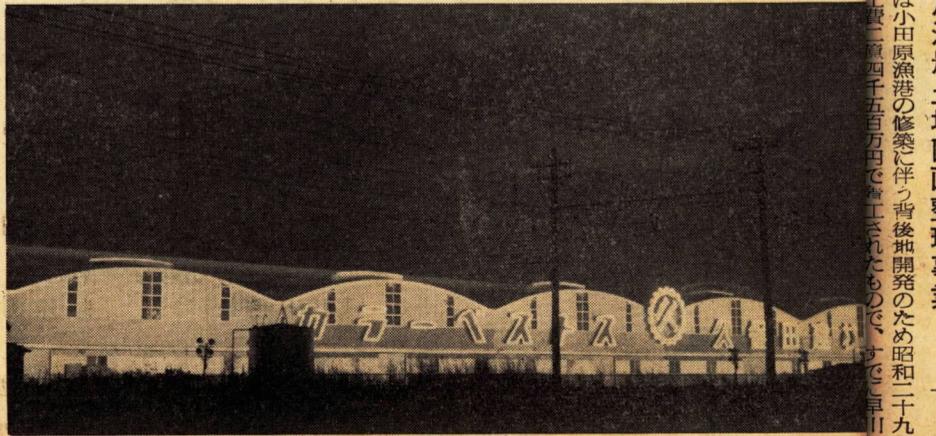
国鉄新幹線工事

国鉄では、現在小田原市内約十六キロの区間で新幹線工事を急ピッチで進めています。特に中間駅が設置される本市は新幹線の完成に伴い東西における観光、産業文化、交通の中心都市として、さらに飛躍的に発展するものと期待されています。写真はモジュール線区鴨宮地内の高架。



工場誘致

豊富で良質な水と交通至便という立地条件に恵まれた本市への工場進出はこのところ著しいものがあります。三十六年中には日立ラップほか四社の誘致が決定し、二十七年以来本市の誘致工場はこれで十四となりました。写真はハリスK小田原工場



この工事は小田原漁港の修築に伴う背後地開発のため昭和二十九年からの総工費二億四千五百万円が費されたもので、すでに早川

公営住宅50戸を建設

小田原 し尿くみ取り施設も買収

市議会十二月定例会

市議会十二月定例会は、さる十二月十三日招集され、会期一日をもって閉会されました。

この定例会では、昭和三十五年度一般及び各特別会計決算の認定並びに昭和三十六年度一般及び各特別会計の追加更正予算をはじめ、城南中学、公営住宅、市立病院結核病棟の建設、市民会館舞台装置の設置等工事請負契約の締結のほか、小田原振興株式会社の上りくみ取り施設買収に伴う関係議案、市税条例の一部を改正する条例など三十五件が上程されましたが、うち決算特別委員会(委員名別掲)へ付託審査となつた決算認定議案九件を除き、いずれも原案のとおり可決されました。

なお、今回の定例会で議決されたおもな議案の概要は次のとおりです。

昭和三十六年度一般会計追加更正予算

今回の追加更正予算総額は七千四百七十六万二千四百五十九円(現計予算額十三億九千五百七十六万五千六百五十六円)におよんでおります。

まず歳入のおもなものをみると、市職員の期末手当及び超過勤務手当、理科教育用器具購入費、事務当、理科教育用器具購入費、裏原(小田原駅)中学校下線街路築造事業費、網一色海岸防波堤改良工事費、し尿くみ取り自動車購入費、下曾我簡易水道改良事業費補助金、農協合併推進協議会補助金、農道改良事業費補助金、かんがい用水路改良事業費、農道及種簡易耐火構造家屋十戸(一戸を結ぶため)、市条例により提案された三〇・四八三平方(計五十戸)のれたものです。

公営住宅の設置について

この議案は昭和三十六年度分の公営住宅を設置するに付、議三十六万円の工事請負契約を結ぶため、市条例により提案されたものであります。

① 城南中学校
この議案は市立城南中学校新築第二期工事(鉄筋三階建、十教室職員室二、教材室三)をほじめるに付、落札業者が仙石工務店と一、千九百二十五万円の工事請負契約を結ぶため、市条例により提案されたものです。

工事請負契約の締結について

この議案は柳町及び桑原住宅を建設するに付、落札業者が門松工務店及び錦木建設と総額二千四百六十万円の工事請負契約を結ぶため、市条例により提案されたものであります。

し尿くみ取り用自動車購入・予算外義務負担について

この議案は地方税法の一部改正に伴い、市民税の課税方式を改め、課税方式変更の概要についてはこれら三つの議案は、小田原振興株式会社へ申し出により、そのすでに前号でお知らせしましたが、興興株式会社の申し出により、そのすでに前号でお知らせしましたが、

六年計画で推進 納税貯蓄組合の普及

市では、本年度が納税貯蓄組合(前期の三万三千元は未結成地区の解消施行満十年に当たり)の普及を重点におき、後期(三万三千元)はこれを機会に納税貯蓄組合の普及運動を実施することになりました。

この普及運動は、前期後期と三期に分けて、都合六カ年(一、二、三)に実施するに当たり、未結成地区の自計画で市内全域に納税貯蓄組合を普及させ、納税貯蓄組合員を九〇〇名以上に増やし、納税貯蓄組合員の方々の協力を望むことを目標に推進されます。

みんなで考えましょう 第44回 市政クイズ

みなさんに楽しみながら市の行政をよく知っていただくため、月一回市政クイズを行なうことになりました。奮って応募してください。

問題

本市の建設十か年計画は東海道新幹線新駅設置に伴って生ずる、小田原の完成によって起る画期的な、又は酒匂川両岸の、地域の現を、として作成されたもので、これには増大した本市の行政力の、を結果として、この中には、見地を立って、の計画の遂行、上下水道の整備、観光、の高度開発の外、福祉行政の、等が織り込まれ、近代都市として、に発展する本市の輝かしい将来が、され得るものと言えます。

応募規定

- 賞金は五千元、正解者二名以上のときは等分し、六名以上のときは抽せんにより五名に等分する(正解者のないときは次回に計算)
- 問題中()は当用漢字(補正漢字を含む)で記入する
- 応募用紙は官製ハガキ又はハガキ大用紙
- 応募者の住所、氏名職業を明記する
- 応募は一人一通に限る
- 締め切りは一月二十日(二十日消印あるものは有効)
- あて先は市役所庶務課広報文書係
- 解答及び正解者は次の本紙上に発表する
- (注意) 応募者は小田原

第43回の正しい答

- 市民に限る市の職員と
- その家族は応募できない
- 第43回の結果
- 応募者六三名のうち正解者は八名でありました
- ので、抽せんの結果次の方々に賞金を四百円ずつさしあげることになりました。
- | | |
|--------|--------|
| 鴨宮六八 | 沢地 康雄 |
| 酒匂二九六 | 杉崎 ナツ子 |
| 国府津二〇一 | 青木 実 |
| 網一色二二三 | 推野 泰枝 |
| 二二二 | 穂坂 悦子 |

公平委員の選任について

この諮問案は、十二月十二日辞職された公平委員川島秀雄氏の後任を選任するに付、提案されたもので、原案のとおり初瀬川晴吉氏(久野、現在小田原市外二丁目組(助役)が選任されました。

人権擁護委員の推薦について

この諮問案は、人権擁護委員十名を推薦することになりました。

なお、納税貯蓄組合のことに付いて、集金の節は税務課までご連絡ください。いつでも係員が伺います。

福祉年金の支払い

一月六日から市内各郵便局窓口で

福祉年金の支払いが、一月六日から市内の各郵便局の窓口で行なわれます。

今回の受給者は老齢年金千四百七十七人、障害年金二百九十九人、母子年金百九十一世帯です。

該当者は国民年金証書と印鑑をご持参の上、指定郵便局の窓口で支払いを受けてください。

併用目盛の計量器

一月一日から使用禁止

計量単位尺貫法の禁止に伴うメーター又は二十万円以下の罰金に処せられる併用目盛の計量器は、昭和三十七年一月一日から使用禁止となりました。

消防始式

恒例の消防始式が、一月十一日(日)小田原小学校校庭及びお堀ばた通りで次により行なわれます。

午前七時 全市一斉サイレン、半鐘を吹鳴(団員招集のため)

同8時30分 消防自動車部隊の街頭行進、優良消防団員、団員及び一般消防協力者の表彰式(城内小学校庭)

同11時 消防部隊の分列行進、消防記念会のお堀ばた通り、お堀ばた通り

併用目盛の計量器

一月一日から使用禁止

計量単位尺貫法の禁止に伴うメーター又は二十万円以下の罰金に処せられる併用目盛の計量器は、昭和三十七年一月一日から使用禁止となりました。

心配ごと相談室

一月九、二十三日 午前九時から三時まで 市役所となり厚生寮

ときに使用するものから、記入事項は正しく書いて、入学される学校にお届け願います。

もし、お子さんが重病で入院中とかまたはその他の理由で診断がうけられない場合は、一応学校にその旨を申し出てください。

なお、詳細については、市教育委員会学校教育課保健係にお問い合わせください。

新入学児童の健康診断

一月から市内各小学校で

本年四月、はじめて小学校に入九年度の義務教育を受けるに付、学するお子さんの、健康診断が、一、体力や知能程度をしらべ、入月から二月にかけて、市内の各小学校の適否を定める大切な診断です。

市教育委員会は、一月早々各小学校を通じて「就学前児童の健康診断」を配布します。

1月の納税 市民税 第4期分

納期限 1月31日 税金はぜひ納めください。(納税貯蓄組合に加入したしきよう)

ブラジル単身移住者(農業)の募集

神奈川県海外協会は、た 場(約四年間働き、その後はだ今ブラジル単身移住者(農業)の募集を行なっております。

農業は企業化した大農業です。現在ブラジルにいる日本人は、二世、三世等を入れて約五十万人と言われております。が、そのほとんどは、訓練を受けるときに必要となり、野果、果樹、畜産などの農業を営み、非常に豊かな生活を営んでおります。

募集している単身移住者は、所農林水産課へお問い合わせください。

新春の小田原城址 お正月の催し

初 泳 ぎ	小田原水泳協会	1月1日	日の出と同時に	御幸の浜
舞踊と獅子舞	花柳寿糸社、柳下會我青年	1月2日	午後1時	野外劇場
少年 剣 舞	神刀流剣術、神武会	1月3日	午後1時	野外劇場
風船だより	32区子供会	1月4日	午前11時	天守閣広場

新春の小田原城址



市議会し原会